

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会第9回定例委員会
日時	平成18年7月28日 自 15時01分 至 15時48分
場所	苫小牧市役所庁舎9階第2委員会室
出席委員	委員長 吉本俊憲 委員 鈴木正樹 委員 佐藤郁子 委員 佐藤守 委員 山田真久
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤(守)委員
会議録作成職員	総務課総務係主事 上川裕樹
事務局職員	学校教育部長 小玉孝幸 スポーツ生涯学習部長 今田和史 総務課副主幹 池淵雅宏 総務課総務係主事 上川裕樹
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時01分
2	会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3	報告（山田教育長）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校は25日、小学校は27日から夏季休業に入った。昨年は窓ガラスが大量に割られる事件や公共物が破損される事件があったが、今年は暴力行為で逮捕された1件で大きな事故もなく推移しており、各学校の努力に感謝している。ただ、15日の夜、沼ノ端小学校4年生の女子がタクシーに跳ねられ意識不明になるという大きな交通事故が起き、報道もされたが、心配された容態は5日後に意識が戻り、後遺症の心配があるが徐々に回復していると聞いているところである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的には痛ましい事故や事件が相次ぎ、4月には岐阜県で空きパチンコ店内で中学校2年の女子が殺され、交友関係にあった高校1年生が逮捕され、5月には愛知県で中学3年女子が同級生の前で5階の窓から飛び降り自殺し、秋田県では小学1年生が下校途中に近所の女性に殺されて遺棄されるという事件や佐賀県でも小学5年の男子が車にはねられ重傷のまま放置されるという事件が起きている。6月に入っても、両親が医者という家庭に育った高校生がプレッシャーから自宅に放火、つい最近では京都市で中学生が母親を切りつけた事件も起きている。最も信頼関係にあるはずの人間関係において殺人やら放火が続いている現状、子どもは大人を信じられない、親は子どもの気持ちが変わらず襲われるという不幸な社会的病魔が日本を覆っている感がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうした中、7月は「子どもを守り心を育てる強調月間」に取り組み、特に1日の街頭啓発集会には大勢の市民や教職員・児童会・生徒会の代表が参加した。年々市民運動としての輪が広がり関心が高まるのは喜ばしいことである。一番の狙いは、子ども

達が自ら命の大切さを自覚し、危機回避のための確かな行動が取れる判断力を育成することであるが、一方で学校だけでは防ぎ切れないことから、地域ぐるみで安心・安全な環境を作り、見守っていくという運動が不可欠である。幸い本市では多くの地域ボランティア組織が誕生し、盛り上がりを見せている。市教委としても今月から中学校区単位で地域町内会を対象に不審者対応を学ぶ実践的な研修の場を開いているところである。

・ 岩倉博文市長が11日に初登庁し、はや2週間が過ぎたが、今日も臨時議会があったが、職員を前に①市役所は変わった、前向きに動き出したという姿を市民に発信しよう。現在よりプラス1を目指し、職員が同じ意識とベクトルで力を合わせたい。②対立から対話（コミュニケーション）を重視したい。③同じ現状認識を持てるかどうか組織改革の鍵となる、などと挨拶があった。教育に関する公約は、学校給食の民間委託、スポーツの充実や音楽イベントによる活性化、体育文化施設改修計画の策定、特定支援教育の体制整備、国際交流などを掲げており、今後教育委員会と課題の認識、方向性の調整について協議が必要になってくる。なお、本日市長には時間を取っていただいて、委員会の途中、3時30分から市長にご挨拶することになっている。

・ 12日に校長会議を開き、夏季休業に向けての事故防止について触れた。特に水難事故の防止について、毎年白老や苫小牧の海岸で波にさらわれる事故が起きており、太平洋岸は遊泳には適していないことを学校で指導し、保護者にも周知すること。また、始業式など一斉に授業が終わる日や急に蒸し暑くなった日に事故が発生していることを踏まえ、天候や状況に応じた学級での指導をお願いしたところである。

さらに、教職員の服務規律について、一つは交通事故や交通違反防止である。夏季休業中は気が緩みがちで開放的になること、旅行も増え不案内の場所では事故や速度違反の率が高くなることから、心のブレーキという自制心をお願いした。

また、休業中も学校は機能しており、正常勤務が基本なので、子どもが休業中だが

<p>らこそ余裕を持って学年会や事務処理を行い、研修に参加し教材研究をする、家庭訪問や個別指導を行うなど、必要な出勤日を確保し、それ以外を年休可能として扱うよう話した。日頃の疲れをとり、英気を養うことは当然必要であり、計画的に勤務と休暇の調和を図るよう指導をお願いした。</p>
<p>次に、個人データが記録されているパソコンの盗難やUSBメモリなどのデータ管理には慎重を期すよう注意を喚起した。車上荒らしや盗難に遭えば被害者だが、個人情報に関しては加害者になってしまうので、公文書扱いの責任は重く、自覚を呼びかけたところである。</p>
<p>・ 6月議会での一般質問などを紹介する。教育への質問は10人中8人で、そのうち5人は学校教育関係の質問である。質問内容の概要のみを報告する。</p>
<p>《学校教育への質問》</p>
<p>1 子どもの安全対策・・・①集団下校の実態と効果 ②防犯ブザー提供と防犯ブザー携帯率向上 ③不審者対策の具体例 ④子どもSOSの家の確認と拡大・SOSカーの効果 ⑤地域ぐるみの対策例 ⑥携帯電話のモラル指導 ⑦不審者情報や子どもの行動の把握</p>
<p>2 余裕教室の活用・・・①一時的余裕教室の実態 ②教育文化開放実験校の休業中開放拡大 ③市が独自に実施するボランティア補習</p>
<p>3 授業力向上・・・①教員研修の内容と成果の公表 ②塾の方が分かり易いという声の感想 ③授業評価・ビデオ・道内外研修などの取り組み</p>
<p>4 青少年犯罪防止・・・①学校の抑止教育、万引き防止指導 ②行政の青少年対策</p>
<p>5 食育・・・①食育基本法の認識 ②朝食抜きの実態と今後の対応</p>
<p>6 幼保一元化・・・①市の認識と組織づくりの構想 ②市教委の認識 ③はなぞの幼稚園で取り組む考え</p>
<p>7 教育基本法・・・①法令化されることへの感想と見解 ②一人一人を前提にした市</p>

の教育方針とに違いはないか ③愛国心の通知表評価の見解

《スポーツ生涯学習部関係》

- 1 体育施設の整備・・・①ハイランドリンク外周に500メートル走路の拡大 ②緑ヶ丘野球場の夜間照明の整備 ③陸上競技場の全天候型整備
④クロスカントリーと総合体育館の整備
- 2 成人式の会計処理と運営・・・実行委員会の自主性尊重と不明瞭な会計の是正
- 3 文化に配慮したまちづくり
- 4 ブックスタート・・・①郷土の絵本を作成し配布してはどうか

《文教経済委員会報告》

- 1 市内中学生による暴行について・・・6月19日に沼ノ端駅で起きた恐喝と暴力行為による中学生の逮捕事件（6月24日）
- 2 平成19年度胆振東区高校間口削減・・・南高校6間口を5間口に削減すると発表。
本市は6月に要望書を提出し本市だけの機械的削減を避けるよう働きかけを行っていた。

・ 全日本高等学校馬術競技大会が21日からノーザンホースパークで開催され、秋篠宮殿下がご臨席されたが、その関係で道教委の吉田洋一教育長も苫小牧を訪問され、明野小学校・東高校・科学センター・ミール館を視察した。特に明野小ではパソコンの授業・ALTを活用した英会話学習などの授業を見られた。馬術競技には私と吉本委員長も2日間参加させてもらったが、大変良い経験をさせてもらったところである。

・ 26日には札幌で公立学校施設整備期成会の総会が開かれ出席した。これは市町村が一体になって国に教育予算の要望をあげているものである。常任委員に前市長がいていたが欠員になったため、今回岩倉市長が後任委員に選任された。また、この日は北海道社会教育委員連絡協議会の50周年記念行事も札幌で開かれており、引き続いて私も記念講演と祝賀会に出席した。本市の関寺委員長さんがこの協議会の会長であることから、敬意を表して参加してきたところである。

— 岩倉市長と教育委員との面談のため一時中断 —

4 委員会閉会の宣言（吉本委員長） ……15時48分

以上のおり会議の概要を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。